

## 別記様式第11

### 平成22年度地域木造住宅市場活性化推進事業費補助金成果報告書

#### 1. 事業名

放送局と連携し「能登ヒバ」「白山杉」を活用した展示棟の建築を通し担い手の育成と木造住宅普及促進のための啓発活動を行う「いしかわの伝統文化を伝える家づくり・人づくり」事業

#### 2. 事業実施期間

平成22年6月 ～ 平成23年3月22日

#### 3. 事業主体

いしかわ木の家普及委員会

#### 4. 事業の成果

【県産材による伝統工法の家「加賀の伝統文化を伝える家づくりプロジェクト」について】

設計・大工・左官・建具の若手技術者・技能者が設計士や職人の指導のもと、伝統工法を活用し、構造や詳細の収まりがわかるように展示を行なう建築教材の建築を行なった。

建築地・・・石川県金沢市諸江町下丁114-7

建築期間・・・2010年8月上旬着工、2011年1月21日完成

仕様・・・4種の書院、床の間をもつ和室展示棟

構造材・・・石川県産材（能登ヒバ、白山杉、紙、土）



## 【放送局 番組及び報道展開】

### ①・地元制作の情報番組内にて「いしかわさんの木の家」コーナー枠を設けた

番組名＝「石川さん情報LIVE リフレッシュ」月～金曜AM10：00より放送

- ・ 内容＝事業の意義やねらいを基本テーマに、「いしかわの伝統文化を伝える家づくりプロジェクト」の各工程を紹介。地域の森林資源循環の現状、職人の伝統技術とそれを学ぶ若手職人の姿などを取材した。
- ・ 放送回数＝5回
- ・ 放送日
  - 2010年 8月31日 使おう県産材① 能登ヒバは注目の木材
  - 9月21日 使おう県産材② 県産材を使ったお宅訪問
  - 10月26日 使おう県産材③
  - 2011年 2月8日 使おう県産材④ 完成 匠の技光る伝統和室
  - 3月22日（予定）

### ②・地元報道番組にて活動内容を取材報道及び、報道企画として放映

番組名＝「FNN石川テレビスーパーニュース」月～金曜PM5：57より放送

- ・ 内容＝建築現場の取材及び事業自体のメッセージをニュース素材として放送
- ・ 放送日
  - 1、2011年1月21日加賀伝統文化の和室展示棟 完成
  - 2、2011年3月15日（予定）地域の森林資源の現状などを中心とした企画ニュース（仮）

### ③・学生向け教材DVDの制作

展示棟の建築過程の記録映像をベースに、「地元産材の生産から消費にいたる流れ」、「地元産材を利用した職人の伝統技術の紹介」、「県産材利用によるCO2削減」をテーマにした映像素材（30分程度のDVD）を制作し、県内各教育委員会を通じて県内の全小学校に教育機関に教材として配布し子供を通じて家庭での情報拡散を図る。

- ・ DVDタイトル「自然と伝統の結晶 いしかわの家」
- ・ 配布先 石川県内全小学校：226校＋石川県内各教育委員会：19 計245枚

## 【展示棟（建築教材）活用方法について】

完成後5年間を目安として石川県産材を使用した木造住宅普及促進活動の拠点として活用。構造や仕上げの納まりの見学や、一部を利用した常設型の石川県産材PRスペースを設ける。

- 若手技術者・技能者の建築教材として年に3回の講習会の開催
- 金沢工業大学建築科学生（在学生656名）を中心として、職業訓練校など建築を学ぶ学生の教材として活用
- 建築関連企業への石川県産材PRイベントを年間2回開催



(記載上の注意)

1. 用紙の大きさは、日本工業規格で定めるA列4とし、縦位置左綴とすること。なお、各項目の記入量に応じて、適宜、欄を引き伸ばして差し支えないが、枚数は3枚を限度とする。
2. 本文の文字のフォントはMS明朝とし、サイズは11ptとすること。
3. 「1. 事業名」は、採択された事業名を記入すること。
4. 「4. 事業の成果」は、今年度に行った事業によって得られた成果及びその技術革新性、目的の達成状況についてわかりやすく記入すること。必要に応じて、今後の事業の展開に関する計画等についても記入して差し支えない。また、主要な事業実施方法、手段等の事業の経過を簡潔に記入すること。